

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと①

年 組 番 名前

山本さんたちは、全校集会で歌う歌を決めることにしました。次は、【各学年からの希望】をもとにした【話し合いの様子の一部】です。山本さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【各学年からの希望】

各学年からの希望を  
もとに、全校集会で歌う  
歌を決めよう。

- ・音楽の時間に習った歌 (一年)
- ・みんながよく知っている歌 (二年)
- ・テレビ番組の主題歌 (三・四年)
- ・歌しを見なくても歌える歌 (五・六年)

【話し合いの様子の一部】

山本 一年生が希望している、音楽の時間に習った歌なら、二年生が希望している、みんながよく知っている歌にも当てはまるかもしれないよ。

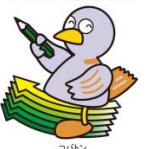
小野 音楽の時間に習った歌の中には、テレビ番組の主題歌もあるね。

松原 そうだね。テレビ番組の主題歌の中には、歌詞を見なくても歌える歌もあるかもしれないよ。

小野 それなら、みんなの希望を生かせそうだね。ぼくたちで候補の歌を挙げて、アンケート調査をしてみたらどうかね。

山本 それはいい考えだね。

～(話し合いが続く)～



- 1 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つけながら話し合っている。
- 2 各学年からの希望を関係づけながら、希望に合う歌を選ぼうと話し合っている。
- 3 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようと話し合っている。
- 4 各学年からの希望それぞれについて、関係する歌を多く出そうと話し合っている。

答え

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと②

年 組 番 名 前

岩村さんの学級では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という案が出されました。それを議題として話し合いをしています。次は、話し合いの内容を黒板にまとめた【記録の一部】です。まとめ方の説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【記録の一部】

〈議題〉 みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう

一部のひとしかふれ合えない	苦手な人があまりいない	多くの人とふれ合える
	・すごろく ・おはじき ・あやとり ・竹馬	
	苦手な人がいる	

1 出された「遊び」を、場所やルールごとにそれぞれ整理している。

2 提案の理由に合わせた複数の観点を決め、それらに合わせて「遊び」を分類している。

3 出された「遊び」を、みんなが参加できると考えられる順番に上から並べている。

4 一つの「遊び」を取り上げ、そこからほかの「遊び」を連想して広げている。

答え



たしかめプリント【小学校五～六年生】話すこと・聞くこと③

年 組 番 名 前

次は、去年の選抜高等学校野球大会開会式での【選手宣誓の一部】です。の部分の表現は、話し手がどのようなふうをすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

(解答の順序は、問いません。)

【選手宣誓の一部】

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。

人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう。日本の底力、絆を。

〃 (宣誓が続く) 〃

(第八十四回選抜高等学校野球大会開会式選手宣誓による。)

- ※1 「宣誓」…多くの人の前でちかいを述べること。
- ※2 「復興」…もとのように再び盛んになること。
- ※3 「絆」…人と人との強いつながり。



- 1 人や物、出来事<sup>できごと</sup>を、ほかの何かにたとえることで、想像しやすくしようとしている。
- 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並<sup>なら</sup>べることで、思いを明確にしようとしている。
- 3 同じ言葉を何度もくり返して使うことで、伝えたいことを強調しようとしている。
- 4 動きや音声を言葉で表すことで、その場の様子を分かりやすくしようとしている。
- 5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

答え

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと④

年 組 番 名前

次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよこれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組みんでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。

そこで美化委員会から、来月の全校美化週間に  
 おいて取り組みことを、次のように提案します。  
 それは、「さ・し・す・せ・そ」を合い言葉  
 に取り組むことです。

- ① さ…さっと取りかかり
  - ② し…しずかに
  - ③ す…すみずみまで
  - ④ せ…せいっぱい
  - ⑤ そ…そうじをしよう
- これらを合い言葉に、みんなで力を合わせ、  
 きれいな学校にしていきましょう。  
 〽 (提案が続く) 〽

【青木さんの心の中の声】

A そうじに対する取り組みの問題点などを  
 もとに、提案しているんだな。

B 六年生は、「さっと取り  
 かり」と「すみずみまで」  
 については、あまりできて  
 いないような気がするわ。

C 低学年にも分かりやすいな。これ  
 なら、そうじのときに合い言葉とし  
 て声をかけ合うことになるだろうか  
 ら、きつと効果が上がるわ。



- 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。
- 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問ぎもんをもちながら聞いている。
- 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。

A
B
C

# たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと⑤

年 組 番 名前

松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことになりました。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【話し合いの様子の一部】

**司会** 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこの言葉はどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

**田中** ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

**北川** 私わたしも、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしく願います」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

**小池** 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと思います。





司会

ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村

小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池

例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができる」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会

ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子

田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木

本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていこうと思います。

◇司会

金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていききたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山

〽 (話し合いが続く) 〽

レベル6

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確認するため。

一

レベル6

二 【話し合いの様子の一部】の司会は——部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

二



# たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと⑥

埼玉県学力学習状況調査



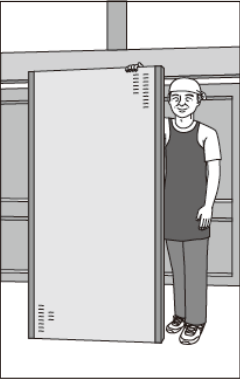
年 組 番 名 前

岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた畳職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

## わが町の達人 ～第25回～

「部屋の床に  
畳をぴたりとおさめる畳職人」



大谷さんの仕上げた畳

店主の大谷進さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくぴたりとおさまる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにぴたりとおさめることができる。

「私にとって、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお願ひします。

岸さん では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、置はともみりよくてきなものです」とおっしゃっていましたよね。どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の置について言えば、全て一点物だということなんです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した置は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうですね。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 畳たたみを作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿すがたをよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さがありました。何とか親方のようになりたいと思いつつながら、修業しゅぎょうをしていました。

岸さん そのような思いをもっていただけですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難むずかしい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしていいますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦ちようせんし続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございます。

## レベル6

一【インタビューの様子】の ア で、岸さんは、自分の理解が正しいかどうかを かく確認しようと思いい、質問をしています。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 十八歳から五十年間も、畳職人という仕事を続けることができたということでしょうか。
- 2 機械を使って一度にたくさん作るので、より多くの人を使うことができるということでしょうか。
- 3 最近作られた畳の中で、特にくふうして仕上げたものにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 4 細部まででないに手作業で作るので、一枚も同じものはないということでしょうか。

## レベル7

二【インタビューの様子】の  で、岸さんは、――部のようにくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がかくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- 2 相手に質問をする理由を理解してもらえようように、インタビューの目的を伝えてから質問をしている。
- 3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。
- 4 相手の話の中に分からない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。【インタビューの様子】の [イ] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

特に、◆


30字



## たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと①

年 組 番 名 前

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の  の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらないや。」  
と、小さな声でつぶやきました。

（物語が続く）



【二人の会話の様子】

南田 —— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という

言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを

--

で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」  
としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動

答え

--

# たしかめプリント【小学校五～六年生】書くこと②

年 組 番 名 前

黒木さんは、次の【きのうの出来事】<sup>できごと</sup>についての文章を書いたあと、読み返して、適切な表現にしようとしています。あとの一と二の問いに答えましょう。

## 【きのうの出来事】

わたしは、きのうの夜、母に注意されたのに、おそくまでテレビを見たり、音楽を聞きました。そのため、夜にねむれなくなっていました。このようなことになったのは、母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。

- 一 ア ―― 部は、「うたり」が一回しか使われていないので、適切な表現ではありません。「うたり」は、複数の内容を並べるときに使う言葉です。ア ―― 部を「うたり、…たり」という表現を使って書き直しましょう。

(解答には、「う」と「…」の記号は必要ありません。)

一



二 イ~~~~部は、そのあとに続く「母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。」という内容に対して、適切な表現ではありません。イ~~~~部を書き直すときに使うことができる言葉を、1から5までの中から三つ選んで、その番号を書きましよう。  
(解答の順序は、問いません。)

- 1 なるならば
- 2 なるし
- 3 なるのに
- 4 なるのだったら
- 5 なるのであれば

## 【学年集会のお知らせの下書き】

## 学年集会のお知らせ

「めざせチャンピオン  
じゃんけん列車ゲーム」

5月12日（木）、8時25分から、  
体育館で行います。

## ◆ルール説明

二人でじゃんけんをして、負けた人は勝った人の後ろにならんで列を作り、勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをし、それを全員が一列になるまでくり返して、最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

## 〈書き直したルール説明〉

- ① 二人でじゃんけんをします。
- ② 負けた人は勝った人の後ろにならび列を作ります。
- ③ 勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをします。
- ④ ②、③を全員が一列になるまでくり返します。
- ⑤ 最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

次は、大西さんが作った【学年集会のお知らせの下書き】です。大西さんは、友達に助言をもらって、下書きの中の「◆ルール説明」を書き直しました。その助言の内容として適切であると考えられるものを、あとの1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

たしかめプリント【小学校五〜六年生】書くこと③

年 組 番 名 前



- 1 ゲームの手順が分かりやすいように、内容のまとめりごとに番号をつけた方がよい。
- 2 多くの人に伝えるので、文末を呼びかけるような表現にした方がよい。
- 3 だれにでも分かるように、難しい言葉をやさしい言葉にした方がよい。
- 4 ゲームの手順が正しく伝わるように、接続の言葉を使った方がよい。
- 5 一文が長くて内容が伝わりにくいので、いくつかの文に分けた方がよい。

答え

# たしかめプリント【小学校五〜六年生】書くこと④

年 組 番 名 前

新聞委員会では、新しく委員会に入る五年生に向けて、各委員会を紹介するパンフレットを作ることにしました。石山さんは放送委員会のページを担当することになりました。次は、石山さんが放送委員会に取材をしたときに書いた【取材メモ】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

## 【取材メモ】

### ◆目標

- みんなが時間を守って行動できるような放送をする。
- みんなが興味をもってくれるように内容をくふうして放送をする。

### ◆活動内容

- 昼休みが終わる五分前とそうじの時間が終わる五分前に、時間を知らせる放送をする。

### ◆放送委員会に入ってよかったこと

- 放送原こうをまちがえずに読むことができるようになった。（大木さん）
- 放送を聞いて、みんなが時間に気をつけて行動してくれるようになったことがうれしかった。（小川さん）
- 「今日の放送、楽しかったよ。」と言われてもらい、やりがいを感じた。（上田さん）



(問い) 【取材メモ】を見直した後、石山さんは追加の取材をして、「◆活動内容」に次の内容を付け

加えました。

○お昼の放送で、本を読んだり、リクエスト曲を流したりする。

なぜ、石山さんは追加の取材をしたのでしょうか。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 みんなが時間を守って行動できるための活動内容を取材していなかったから。
- 2 昼休みやそうじの終わりを伝えるための活動内容を取材していなかったから。
- 3 興味をもってもらえる放送にするための活動内容を取材していなかったから。
- 4 放送原稿をまちがえずに読むための活動内容を取材していなかったから。

答え



# たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと⑤

年 組 番 名 前

次の【文章の一部】は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

一 【文章の一部】の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、左の文に丸で囲みましょう。

一 放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。



レベル9

二 【文章の一部】の中の——部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。  
つなぎ言葉には、「だから」を使います。

- (1) 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから、」に続く七文字を書き直しましょう。

なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、左のらんに書き直しましょう。

新しく委員になった五年生は、く（中略）く


。だから、


く（中略）く 教えてあげたいと思った。

レベル6

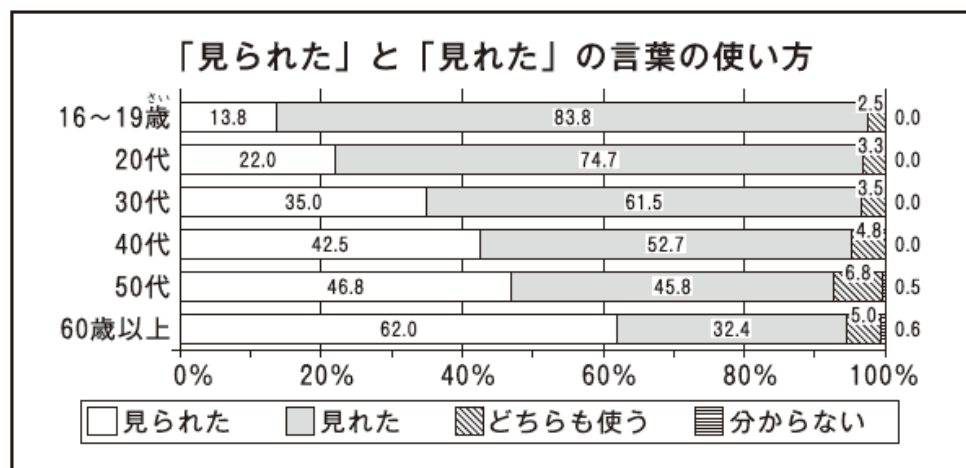
- (2) ——部を二つの内容に分けると、「だから」と同じような意味の別の言葉を使うと

すると、どのような言葉がふさわしいですか。次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書き直しましょう。

- 1 しかし
- 2 また
- 3 ところで
- 4 それで

二の(2)


【資料】



(文化庁「平成22年度国語に関する世論調査」による。)

【ノートの一部】

〈年代ごとのわり合から分かること〉

- 16さいから19さいまでのわり合では、「見れた」が「見られた」を大きく **ア**。
- 20代、30代でのわり合においても、16さいから19さいまでのわり合と同じようであることが分かる。
- 50代でのわり合は、「見られた」と「見れた」の差が1ポイントで、ほぼ同じである。
- 60さい以上でのわり合を比べると、「見られた」が「見れた」を **イ**。

〈全体から分かること〉

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、

**ウ**

～（内容が続く）～

高木さんは、言葉の使い方について考えるために、次の【資料】から分かったことをノートにまとめました。「ノートの一部」を読んで、あとの問いに答えましょう。

年 組 番 名 前

たしかめプリント【小学校五～六年生】書くこと⑥



レベル7 ・ア

レベル7 ・イ

レベル8 ・ウ

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、										
◆										40字
										50字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくても

※解答は、上の原稿用紙げんこうようしに書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、で、

続けて書きましょう。

※数字は、 20 のように1マスに書きましょう。

(問い) 「フートの一部」の ア ・ イ ・ ウ の中にはどのような内容が入りますか。ふさわしい内容をそれぞれ書きましょう。ただし、ウ は、「見られた」と「見れた」の二つの言葉を用いて、四十字以上、五十字以内で書きましょう。

(書き出しの言葉は、字数にはふくみません。)

# たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと⑦

年 組 番 名 前

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア

ウ

イ



一 松本さんは、【山村さんへの手紙】の  でどのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いている。
- 2 今と昔の生活のちがいについて、体験して気づいたことを書いている。
- 3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。
- 4 見学をして新たに疑問ぎもんに思ったことを書いている。

一

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さんへの手紙】の  ・  ・  の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1    ア    自分の名前                    イ    日付                                    ウ    相手の名前
- 2    ア    日付                                    イ    相手の名前                            ウ    自分の名前
- 3    ア    相手の名前                            イ    日付                                    ウ    自分の名前
- 4    ア    日付                                    イ    自分の名前                            ウ    相手の名前

二

たしかめプリント【小学校五〜六年生】書くこと⑧

年 組 番 名前

増田さんは、ケンとアンが宝物たからものを探さがす物語を書くこととして、構成の「中」の部分を書くようになりました。次の【物語の構成】をよく読んで、増田さんのくふうの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【物語の構成】

<p>はじめ</p>	<p>中</p>	<p>終わり</p>
<p>ケンとアンは、村に伝わる宝物の話をおじいさんから聞き、宝探しに出かける。</p>	<p>① 一日かけて、草原で第一の宝箱を見つける。箱の中には、宝物ではなくカギと紙きれが入っている。                  ② 二日かかりで、山で第二の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。                  ③ 三日かかりで、川で第三の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。                  ④ 四日かかりで、海で第四の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っており、今まで見つけた紙きれを全て合わせると、宝物の場所を示す地図になることに気づく。</p>	<p>ケンとアンは、村に伝わる宝物を見つける。しかし、二人にとっては「友情」が一番の宝物となった。</p>





- 1 現在と過去を行き来して書き、読者に出来事できごとのつながりが少しずつ分かるようにしている。
- 2 出来事に変化を加えながらくり返して書き、読者が展開てんかいに期待をもって読めるようにしている。
- 3 物語の結末の場面から書き、読者が展開に興味をもって読めるようにしている。
- 4 時間の流れとは反対の順序で書き、読者に出来事のきっかけが分かるようにしている。

答え

# たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと⑨

年 組 番 名 前



星野さんは、給食の献立こんだての一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】と、それをもとにしておうちの人に向けて書いている【おすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、※するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろいろどりも考えられています。

中華風ちゅうかふうドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

## かみかみあえ



※「するめ」…イカを干した食品

## 【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このよ  
うな名前がついています。おうちの人に、この「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニュー  
としておすすめします。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスや  
いろどりも考えられています。中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんで  
いて、たまらないおいしさです。

特におすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。

六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに  
入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、  
ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「か  
みかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。

「かみかみあえ」は、

おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、  
おうちのメニューの一つに加えてください。

一 星野さんが【紹介する文章】をもとにして書くときに、【おすすめする文章】の最初の部分に  
 のように書いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、  
 その番号を書きましよう。

- 1 疑問を提示し、読者が興味をもって読めるようにするため。
- 2 自分が伝えたいことを述べ、読者の理解を助けるため。
- 3 具体的な例を多く挙げ、読者に納得してもらうため。
- 4 自分の経験を述べ、読者の経験と比べて考えてもらうため。

一

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

二 星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすめする文章】の  
 書くことにしました。そこで、以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り  
 入れてくわしく書くこうとしています。

に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

								「	か	み	か	み	あ	え	」					
										50字										

80字

三 星野さんは、【紹介する文章】をもとにして【おすすめする文章】を書くときに、どのようなふうをして書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 おうちの人に深く考えてもらうために、経験を思い起こすことができるようにしている。
- 2 おうちの人に納得してもらうために、よい点だけではなく、よくない点も示している。
- 3 おうちの人によさを理解してもらうために、ほかのものと比べている。
- 4 おうちの人に自分のこととして考えてもらうために、疑問を投げかけている。

三

# たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと⑩

年 組 番 名前

山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士ゆかわひできほかせについて書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの【ノートの一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

## 湯川秀樹（一九〇七年く一九八一年）

物理学者。全てのもの是非常に小さいつぶからできており、そのつぶに関する新しい考えを導き出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらしした。



<p>心に残った行動や成しとげたこと</p>	<p>思ったこと</p>
<p>おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりして、家や門を作っていた。</p>	<p>物事への熱中の仕方がすごい。わたしもパズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。</p>
<p><b>A</b> 小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道習っていた。最初は兄弟姉妹の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p>	<p>続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っている。やめたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p>



数学によって考えることの喜びを教えられた。むずかしい問題に出会うとファイトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。

わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろう。

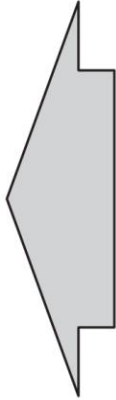
大学を卒業した後も引き続き大学に残り研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかつた。研究の見通しがつかず、苦しい日々が続いていた。

湯川博士も苦しいと思うときがあつたということにおどろいた。

**B** 家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなないと断つた。自分の力で、やれるところまでやってみたい。何度失敗してもよいと考えた。

一度始めたことはなかなかやめないという湯川博士のことをよく表している。

**C** 最も心がひかれた一文とその理由



二 山下さんは、最も心がひかれた一文として、**B**の中から「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」を選びました。そして、【ノートの一部】の**C**を書いたために、もう一度伝記「湯川秀樹」を読み返しています。次の【伝記「湯川秀樹」の一部】を読み、**C**の  に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

【伝記「湯川秀樹」の一部】

秀樹は、大学を卒業した後も引き続き大学に残って研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。そのころ世界では、秀樹が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいた。研究の見通しがつかず、秀樹にとって苦しい日々が続いていた。

昼夜を問わず、秀樹の頭の中には研究のことがあった。ふとんに入ってからも研究のことを考え、次々にうかんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置くようにした。そして、アイディアを思いつくごとに電灯をつけてノートに書きこむようにし、ねばり強く考え続けていた。秀樹は、だれも知らない真実を探ろうとしていたのである。



C

最も心がひかれた一文とその理由

この言葉は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたたくない、と留学の話を断ったときの湯川博士の言葉である。

湯川博士はおさないころから、積み木に熱中したり、書道にしんぼう強く取り組んだり、一度始めたことを最後までやりとげようとしていた。また、

「自分の力で、  
やれるところまで  
やってみたい。」

これらのことから、「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文は、ねばり強く物事に取り組む湯川博士のことをよく表していると思った。

わたしは、勉強やスポーツに取り組んでいるとき、とちゅうであきらめてしまうことがある。これからは湯川博士のように、ねばり強く最後までやりとげるようにしていきたい。

〈条件〉

- なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかを  
考えて書くこと。
- 【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの  
言葉は字数にふくむ。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

					ま
					た
					、
					◆

100字

60字

# たしかめプリント【小学校五く六年生】書くこと⑪

年 組 番 名 前

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている【報告する文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【報告する文章】

### 公衆電話について

高橋 めぐみ

#### 1 はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くど、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こままってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思ひ、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが〈資料1〉です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。

そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなつてしまったのかどうか調べてみることにしました。

#### 2 調査の内容と結果

##### (1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか

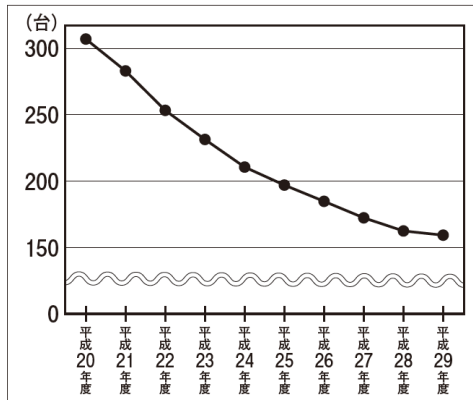
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。

そこで、地いきの人三十人を調査の<sup>ア</sup>たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが〈資料2〉です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。

このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

#### 〈資料1〉

公衆電話設置台数の移り変わり



#### 〈資料2〉

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人



(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか

公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。

- ・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
- ・停電のときでも、硬貨を使って通話することができます。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが〈資料3〉です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

3 調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

〈資料3〉  
公衆電話の設置場所を示した地図



レベル7

一 高橋さんは、【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉を、それぞれのようない目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。

2 内容ごとに分類して示し、大まかな持ちようを伝えるため。

3 年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。

4 記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。

5 説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

〈資料2〉  
……

〈資料3〉  
……

レベル7

二 高橋さんは、「(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」の中で、公衆電話の使い方や持ちようについて、くふうして書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 情報を整理して伝えるために、ことがらを分けて並べて書いている。

2 自分の考えを強調するために、同じ言葉をくり返して書いている。

3 自分の考えのもととなる事実を示すために、図や表を用いて書いている。

4 相手の理解を助けるために、使い方の手順に従って書いている。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の  に「2 調査の内容と結果」の

(1) と (2) で分かったことをまとめて書いています。  に入る内容を、次の条件に

合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって	なぜなら、◆
必要がなくなってしまうたわけではないと考えました。	

70字

40字